

今週の言葉



一人前になるということ

この歳になって、ようやく世の中のことが少し見えるようになり、自分の歩んできた人生を振り返ることがあります。その中で自分の生き方の根本的な部分が、恩師、友人、職場の仲間、親兄弟など、様々な人との出会いの中で培われ、育てられていたと強く感じています。人生の節目、節目を振り返ると必ずといっていいくらい、そうした人たちの存在を思い浮かべることが出来ます。

わたしが簿記論の教師だからというわけではありませんが、自分の歩んできた人生を「貸し借り」という物差しでトータルしてみると、圧倒的に「借り」の多い人生であったように思います。人から借りたものは必ず返済するのが人の道だと分かっていても、人の優しさ、思いやり、励ましといった「心の恩恵」は、金銭や物品のように清算すればそれで終わりということにはならず、どうやって返済するかが長年の課題でした。

ある日、中学生の頃お世話になった恩師から「最近、活躍の様子を耳にするけど・・・元気に頑張っているようで喜んでいる」といった内容の電話をいただいた。いうまでもなく、圧倒的に「借り」の多い人生でしたが、大学を出て教職に就き、周りの方々に散々迷惑を掛けながら、教師として、親として、また地域の一員として、必死になって走り続けた結果が、この電話に繋がり、ようやく先生からいただいた「心の恩恵」を少しばかり返済できた気がする瞬間でした。60歳半ばを超えてやっとこの境地にたどり着くぐらいですから、お世話になった方々に見えない借りを返すのは本当に大変な作業だと思います。

学生諸君の多くは、これから就活に臨む人、また、春から社会人として活動を始める人も、自分自身のこれからを考えると、将来に不安を感じ、悩ましい毎日を過ごしているはずです。成長したとはいえ、学生諸君の人生はまだ緒に就いたばかり、これから一人前の人（社会人）になるための戦いが始まるのです。

一人前の人間として認められることは並大抵なことではありませんが、それは、特別な大人になることではなく、目の前にあるそれぞれの課題から決して逃げることなく、一つ一つの課題に真剣に向き合える人間になることだと私は思っています。人との出会いを大切に、そして、その時々にいただいた「心の恩恵」を心に刻み、それぞれの人生をいい意味で楽しく、悔いのない人生を歩んでほしいと思っています。

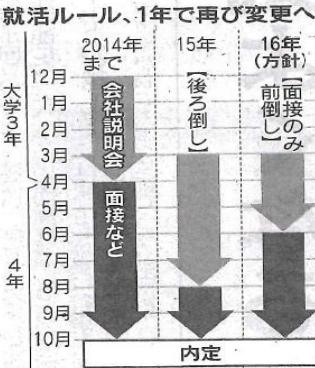
頑張れ成美大学生諸君！



キャリア設計ゼミ担当 内藤行雄

就活 面接6月解禁か？

・・・ 大学3回生・短大1回生にお知らせ ・・・



経団連は、先週大学生の就職活動に関し、面接開始を今年よりも2ヶ月前倒しして、6月解禁とする方針を発表しました。これは、まだ正式決定ではありませんが、たぶん来年はこの日程になるだろうと思っています。

今年度の就活日程が、8月面接開始の日程で、大手が開始した途端に、それまでに内定していた企業の辞退者が続出し、学生が確保できないという企業からの要望が強く反映されています。本来は、学業に専念させるというねらいがあったのですが、中小企業や経団連に加盟しない企業などが、早い時期から動き、その結果、学生は3月から8月・9月まで長期にわたる就活になってしまったという反省もあります。

いづれにしても、できるだけ早い時期に自分の進路を見つめておくことが重要になります。来年の就活は短期勝負になると思っていてください。

詳細は正式決定後、改めてお知らせいたします。

キャリアサポート室

